

【 U20アジアジュニア選手権 】

2017年7月15日～7月23日 香港・九龍

試合結果報告 7 月 15 日 (土)

J P N	VS	KAZ(カザフスタン)
17	前半	9
15	後半	10
0	第1延長	0
0	第2延長	0
32	合計	19

個人得点

名前	前半	後半	第1延長	第2延長	合計
榎 和奏					0
松浦 志織		1			1
並木 梨沙	1				1
大松澤 彩夏		2			2
行本 朱里		1			1
鈴木 姫らら	2				2
平川 愛					0
吉田 瑞萌	1				1
中山 佳穂	1	3			4
相澤 菜月	3	4			7
吉留 有紀	5	2			7
笠井 千香子	4	2			6
西村 美桜里					0
渋谷 千里					0
尾辻 素乃子					0
藤田 遥香					0
					0
					0
合計	17	15	0	0	32

戦評

アジアジュニア選手権の初戦はカザフスタンと対戦。開始早々、リバウンドから失点するも 並木の7mTで同点とする。その後、相手の190センチを超える大型ポストになかなか対応できず失点を許してしまう。互いに点を取り合い、前半17分まで6対6の同点で試合が進む。

日本はGKのNO.26榎のノーマーク3 連続セーブから速攻につなげ、左腕エースのNO.35中山の速攻を皮切りにLWのNO.38吉留、CBのNO.36相澤が続き、11対6と試合の主導権を握る。その後、相手のCBの力強い1対1や RBのミドルシュートを防ぐことができず、一進一退の攻防が続く。前半残り5分を切ったところでNO.36相澤の鋭いカットイン、LW吉留のサイドシュートなどを含め5連取し、17対9と8点のリードで前半を折り返す。

後半は、NO.36相澤のカットインシュートやNO.39笠井の速攻などで好スタートを切る。後半DFが機能した日本は、その後も相手のミス速攻につなげ、10点以上リードを広げ、NO.30行本NO.29大松澤のミドルシュートなどで得点を重ね危なげなく試合を進め、32対19で試合終了し、初戦を白星で飾った。

報告記入者 :

佐藤奏吉